

米国のシリアスファンのプロビジョナルメンバー(準会員) として加盟を認められました

公益財団法人そらぶちキッズキャンプは今般、米国に本拠をおく、難病の子ども達とその家族の為の、国際的キャンプ団体シリアスファン・チルドレンズネットワーク(略称シリアスファン)から、「認定審査と本年8月の審査の結果、10月29日の理事会に於いて、当グループへのプロビジョナルメンバー(準会員)としての加盟を認めた」との通知を受領しました。

シリアスファンは俳優、故ポール・ニューマン氏が米国に創設した、難病の子ども達とその家族のためのキャンプ場の世界的なネットワークであり、そらぶちキッズキャンプはその第16番目の、アジア(中東を除く)では最初の公認キャンプ場となります。

そらぶちキッズキャンプは2004年以来、多くの支援者の皆様のご協力のもと、北海道滝川市江部乙町丸加高原において、独自にテストキャンプや専用施設の建設を続けてまいりました。今回のシリアスファンの認定により、2014年度からは、シリアスファンの公認キャンプ場の一つとして、引き続き、難病の子ども達とその家族の皆様の為のキャンプ場として、一人でも多くのキャンパーを迎えることができるようにさらに努力していく所存です。これからもそらぶちキッズキャンプへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ

代表理事 細谷亮太

〈シリアスファン・チルドレンズネットワークとは〉

<http://www.seriousfunnetwork.org>

1988年、俳優、故ポール・ニューマン氏は、難病の子ども達やその家族の quality of life(生活の豊かさ)の向上という希望を抱いて、世界最初の小児がん等の難病と闘う子ども達とその家族の為の医療支援体制を整えたキャンプ場を、米国コネチカット州に設立し、それを The Hole in the Wall Gang Camp(ザ・ホールインザウォールギャング・キャンプ)と名付けました。

この運動は米国のみならず、海外にも広がり、1997年には、ニューヨーク州、フロリダ州、アイルランド、フランスに同様のキャンプ場が出来ました。これらの公認キャンプ場を結び付けるネットワークとして、Association of Hole in the Wall(ホールインザウォール協会)が米国内国歳入法第501条C項3号(*)の規定に基づく非営利公益法人として2001年に設立され、その後、カリフォルニア州、ノースカロライナ州、英国、イタリア、ハンガリー、イスラエルと、世界中にキャンプ場が拡大しました。

2012年に名称を SeriousFun Children's Network(シリアスファンチルドレンズネットワーク、略称 シリアスファン)と改称、現在は世界中15カ所に公認キャンプ場があり、1988年以降、29万人以上の子ども達とその家族の為のキャンプを行っています。それにかかわったボランティア・スタッフの総数は44万人にもものぼっています。

シリアスファンのミッションは、「難病を乗り越えて、喜び・自信・新しい世界の可能性を見出せる機会を子どもたちと家族に無償で提供したい」というものです。公認キャンプ場のネットワークに加えて、グローバルパートナーシッププログラムと呼ばれる個別のプログラムも、アフリカ・アジア地域で展開しています。

* 米国内国歳入法第501条C項3号

米国においては、内国歳入法 第501条C項3号に従い、公益性のある法人の認定は内国歳入庁が認定付与・監督規制を行います。これにより認定された法人は、日本における公益財団(社団)法人と同様、所得税免税、寄付税制上の優遇処置等を連邦政府より認められています。

■北海道新聞 2013.11.9 掲載

そらぶちキッズ 公認キャンプに

アジア初 米団体が認定

【滝川】市内江部乙町のそらぶちキッズキャンプは8日、難病の子どもと家族向け施設の国際連携を図る米国の団体「シリアス・ファン」(本部・コネチカット州ウエストボート)から、公認キャンプの地位にあたる「準会員」に認められたと発表した。世界中のキャンプと情報交換ができるなど、今後の運営の幅の広がりが期待できる。

そらぶちは7日、シリアス・ファンから10月29日の理事会で加盟が認められた」との通知を受けとった。公認キャンプとなるのはアジア(中東を除く)で初めて。

シリアス・ファンは米国の俳優・故ポール・ニューマン氏が1988年に創設。そらぶち以外では世界15カ所の公認キャンプがある。そらぶちは2006年に公認の前段階である「申請準備団体」となり、プログラムの運営体制や施設を整備。今年8月にはシリアス・ファンの会長ら3人が実際にキャンプを訪れ運営を審査した。

そらぶちの幾田雅彦北海道事務局長ら3人は8日、前田康吉市長を訪ねし認定を報告。幾田事務局長は「財政面で期待できる。国際的な信用のある安全なキャンプを維持していく」と話した。